

金ヶ崎男子が連覇

決勝胆江対決

江刺一に逆転勝ち

バレーボール

(盛岡体育館ほか)

【男子】

▽1回戦

金ヶ崎2-0 渋民

江刺1-0 仙北

水沢南2-0 久慈

▽2回戦

金ヶ崎2-0 千厩

江刺1-0 大迫

水沢南2-1 和賀西

▽準々決勝

金ヶ崎2-0 大船渡

江刺1-0 紫波

下橋2-0 水沢南

▽準決勝

金ヶ崎2-0 雫石

江刺1-0 下橋

▽決勝

金ヶ崎2-1 江刺一

(金ヶ崎は2年連続2

回目の優勝)

※優秀選手賞(胆江勢)

武田柘嗣・伊藤尚輝

(金ヶ崎)・千葉永雅・菊

地真広(江刺一)

【女子】

▽1回戦

金ヶ崎2-0 湯本

厨川2-0 小山

▽2回戦

金ヶ崎2-0 桜町

▽準々決勝 高田東2-0 乙部 厨川2-0 高田東

乙部2-0 金ヶ崎 厨川2-1 沼宮内 (厨川は2年連続3回

▽準決勝 厨川2-1 沼宮内 (厨川は2年連続3回

▽決勝 厨川2-1 沼宮内 (厨川は2年連続3回

目の優勝)

土壇場の底力 金ヶ崎男子



決勝・金ヶ崎―江刺一 レフト攻撃を決める金ヶ崎・武田柘嗣(2年、奥)

胆江対決となった男子決勝「金ヶ崎―江刺一」は、序盤にペースをつかみ第1セットを奪った江刺一が、前回王者の金ヶ崎をきりきりまで追い詰めるも、最後は金ヶ崎が土壇場で踏ん張りの逆転。底力で2連覇をもぎとった。

第1セットは、金ヶ崎の石川嵐斗主将(2年)が「サーブで崩され、気持ちが弱くなっってしまった」と振り返るように、江刺一の千葉永雅主将(2年)らが強力なジャンプサーブで金ヶ崎を押し込む展開。江刺一は菊地真

を放つ江刺一・千葉永雅主将(2年)を苦しめた。第2セット、武田柘嗣(2年)、伊藤尚輝(2年)が左右から切れのあるスパイクを連発し、流れをつかみかけるも大事の場面で痛いサーブミス。両チーム譲らず一進一退の攻防を繰り返したが、最後はネット際で強さをみせた金ヶ崎が、このセットを27-25で奪い返すと、最終セットは、江刺一の守備が乱れ連続ミス。金ヶ崎が25-16で突き放

し、勝利を手にした。「きょうのプレーは20点」と金ヶ崎の武田、後半修正したものの、前半のスパイクはオーバー気味。狙った所に打てなかった」と自身の攻めを猛反省した。レフト伊藤も「ふがないプレー。決め切れなかった」と序盤、江刺一に走られたゲーム展開に表情を曇らせた。全国優勝を目指す金ヶ崎男子。石川主将は「競った時にどう戦うか。サーブカット、サーブミスをなくしたい」とチームに喝。武田も「冬はすべての面で日本一を目標においた練習を」。伊藤も「もっと気持ちを強くしたい」ときつ

きた」と笑顔。「これまで以上にミスをしないよう、冬の練習に励みたい」と力強く話した。

◆あと1点が届かず 決勝戦は、胆江地区第2代表の江刺一が、第1代表の金ヶ崎と互

角の勝負を展開。第1セットを取り、第2セットも24-23と先に全力でやっても離され

手をかけたが、あと1点が届かなかった。最後は「まだまだ。最後は全力でやっても離され



強力なジャンプサーブを放つ江刺一・千葉永雅主将(2年)

を引寄せたセンターを速攻でチームに流れ菊地真広(2年)も「初チーム全員で頂点を目指す。」